

欠席委員からの質問・意見

本日欠席の木村俊之委員から「令和7年度君津中央病院企業団病院事業会計予算について」に関する質問・意見を頂きましたので、企業団からの回答を付して、以下のとおり報告いたします。

「令和7年度君津中央病院企業団病院事業会計予算について」に対する質問・意見

No.	ページ	施策	質問・意見	企業団回答
1-1	P17	一時借入金について	<p>【質問】 貴団が行っている資金繰り管理の概要について教えてください。 (資金繰り表を作成しているのであれば、それを見せていただければ結構です)</p>	過去の収入・支出実績や当年度の予算、支出負担行為（支払予定）等に基づき、年間かつ日毎の資金残高管理表を作成し、随時更新しています。
1-2	P17	一時借入金について	<p>【質問】 借入金限度額を5億円から10億円に増額していますが、金融機関から応諾は取れていますか。 未済であるならば、対応に懸念はありませんか。 済であるならば、対応に変化はありませんでしたか。（例えば、担保差入や金利引上の要求など）</p>	現時点で金融機関への打診は行っておらず、現在の当座貸越契約終期時（令和7年7月）に、再度資金繰りを検討し契約極度額を決定したいと考えています。その際の懸念としては、極度額の増減を問わず、金利引上げ要求があると考えています。

No.	ページ	施策	質問・意見	企業団回答
1-3	P17	一時借入金について	<p>【質問】</p> <p>一時借入金が増額することにより見込まれる利息等の増加は、医業外費用の支払利息（P7）に織り込まれていますか。</p>	<p>12月は5億円、2～3月は10億円の借入を想定し、一時借入金利息を増額しています。</p>
2-1	P18	分院の建替えの検討について	<p>ローコスト病院建設の有識者と顧問契約を締結されるそうですが、有識者の選任はどのようなプロセスでなされるのですか。</p>	<p>分院の建替え計画を本格的に進めるにあたり、企業団には病院建設に関する専門家がないため、総務省が行っている「地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業」を活用して、自治体病院の経営事情に精通し、ローコスト病院建設の専門家である城西大学経営学部教授の伊関友伸氏にアドバイザーを今年度務めていただいております。来年度も同事業を通じてアドバイザーを務めていただく予定ですが、年間派遣回数に限りがあるため、事業日以外にも随時、相談ができる体制を整えたく、同事業のアドバイザーに加え、分院建替えに係る顧問を依頼します。</p>